

2017年1月10日

各位

株式会社 三井住友銀行

「S M B Cイノベーションマネジメント融資/私募債」の取扱開始について

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、企業のイノベーションマネジメント¹ 推進に向けた取組みなどを評価し、資金調達時にお客さまに評価結果を還元する「S M B Cイノベーションマネジメント融資/私募債」の取扱いを開始しました。

日本企業を取り巻くグローバルな環境変化のスピードが上がり続けるなか、市場・製品の短命化を超えるスピードで顧客価値を創出し、また、新たな市場を創出するイノベーションの重要性が高まっています。

また、2019年を目途に、イノベーションマネジメントをI S O（国際標準化機構）の一規格として制定する動きもあり、グローバルに事業展開を行う企業にとって、イノベーションマネジメントへの取組みは今後不可避の流れとなりうるものと考えられます。

このような背景のもと、三井住友銀行では「イノベーションマネジメントの具体的な取組状況」や「取組みの下支えとなるビジョン・実行体制・教育体制等」に関して客観的なかたちで評価を行う融資商品を開発しました。

「S M B Cイノベーションマネジメント融資/私募債」は、独自の評価基準に基づき評価を行うとともに、取組みについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく商品です。

本格的な評価手法を導入するにあたり、評価基準の客観性および信頼性を確保するため、イノベーションマネジメントの評価・コンサルティング実績を有する一般社団法人 Japan Innovation Network（代表理事：紺野 登）² に制度設計および評価業務を委託しております。

また今般、取組開始に向けて、本商品の趣旨にいち早くご賛同をいただいた株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ（代表取締役社長：杉崎 康昭、以下「大阪チタニウムテクノロジーズ」）に対して、第一号の「S M B Cイノベーションマネジメント融資」を実行いたしました。

今回の大阪チタニウムテクノロジーズに対するイノベーションマネジメントへの取組みについての評価結果は、イノベーションマネジメント推進を実践されており、目標達成に向けた強い推進力を有する「イノベーションマネジメントのグロース企業」との評価になりました。

特に、経営トップがイノベーションの重要性を良く理解し、経営陣が一枚岩となり情報共有を緊密に行いながら、経営としてイノベーション活動をモニタリング・推進されていること等が高く評価されました。

三井住友銀行では、「S M B C イノベーションマネジメント融資 / 私募債」により、企業のイノベーションマネジメントへの取組みを、金融を通じて支援してまいります。

また、2016年2月に発足した、オープンイノベーションの実現に向けた事業コンソーシアム「Incubation & Innovation Initiative(通称：(トリプルアイ))」や、アクセラレーションプログラム「未来」等の取組みを通じ、企業のイノベーション推進に向けた取組みを積極的に支援してまいります。

<ご参考>

1 イノベーションマネジメントとは

本業の効率性追求に加え、創造性の強化を組織的に行い、継続的にイノベーション(本業・新事業共に)を生み出す為の組織マネジメントを指します。特に、社内外の企業や個人のアイデアの活用、ベンチャーとの連携も内包しつつ、中長期的な成長志向のマネジメント活動の総称として定義しております。

2 一般社団法人 Japan Innovation Network とは

2013年に、経済産業省の研究会を母体として、イノベーションマネジメントの普及を目指し設立。2016年11月末現在、33社に対するイノベーション加速支援活動の実績を有し、イノベーションマネジメント普及に向けた会員組織の運営や各種イノベーション・プラットフォームの運営を行っています。

2015年から、イノベーションマネジメントのISO化に向けた国内審議団体としてイノベーションマネジメントの国際標準化に向けた国内外の意見集約等にも尽力しています。

以 上

このニュースリリースは、投資勧誘を推奨することを目的としたものではありません。